

春期研修会のご案内

研修内容（要旨は裏面）

平成29年3月19日(日) 10:00~17:00

マインドフルネスを家族カウンセリングに活かす

－ 気づきと受容を育成するマインドフルネス －

早稲田大学文学学術院教授
日本マインドフルネス学会理事長

越川 房子 先生

平成29年3月20日(祝) 10:00~17:00

フランクルの実存分析とその展開

－ 心理学と全人的医療の出会い －

(公財) 国際全人医療研究所代表理事
日本実存療法学会理事長
千代田国際クリニック院長
国際学術大学院ビクトール・フランクल講座名誉教授

永田 勝太郎 先生

本研修会は、家族心理士・家族相談士の継続研修実績（3時間1P）の対象となります。

● 会 場 日本女子大学教育文化振興 桜楓会桜楓2号館 4階ホール
文京区目白台1-16-7 TEL. 03-3942-6090

● 定 員 120名

● 申込み
締切り 3月8日(水)

● 参加費

	締め切り前の振込(税込)	締め切り後の振込(税込)	一日のみ参加(税込)
協 会 員	19,440 円	20,520 円	各日 10,800 円
一 般	23,760 円	24,840 円	各日 12,960 円

※日本家族心理学会会員、学生、院生は会員と同額にします。

※上記の金額は消費税込の参加費となっております。

NPO法人日本家族カウンセリング協会

東京都杉並区梅里2-40-16 ビラージュ白井7F
TEL. 03-3316-1955/FAX. 03-3316-1956
URL <http://www.j-f-c-a.org>

■ 3月19日(日)

マインドフルネスを家族カウンセリングに活かす

—— 気づきと受容を育成するマインドフルネス ——

越川 房子(こしかわ ふさこ)先生

最近、TVや新聞・雑誌等のマスメディアで紹介されることの多いマインドフルネスについて学び、体験し、理解を深めたいと思います。マインドフルネス瞑想の源は仏教の修行法ですが、科学的実証研究に基づいてその効果が示されている心理的技法でもあります。またマインドフルネス諸技法は、気づきと受容の育成に役立つことが知られています。この気づきと受容は、カウンセラーをはじめとする対人援助者に求められる重要な基礎力といえます。

【プロフィール】早稲田大学文学学術院(学部と大学院の両方を含む)教授。日本マインドフルネス学会理事長。早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻後期課程中退後、同大学助手、専任講師、助教授を経て現職。2004年～2005年の8か月間の特別研究期間をMBCTの開発者の一人であるウィリアムズ教授(オックスフォード大学精神医学科)のもとで過ごす。瞑想歴は30年以上。

著書: 『Horizons in Buddhist Psychology: Practice, Research & Therapy』A Tao Institution Publication、『ココロが軽くなるエクササイズ』東京書籍、『マインドフルネス—基礎と実践—』日本評論社 など。

関連監訳書・共訳書: * 『マインドフルネス認知療法』北大路書房、* 『うつのためのマインドフルネス実践』星和書店 など

関連論文: 『クライアント中心療法とマインドフルネス』村瀬孝雄・村瀬嘉代子編著『全訂ロジャースクライアント中心療法の現在』日本評論社 など。

■ 3月20日(祝)

フランクルの実存分析とその展開

—— 心理学と全人的医療の出会い ——

永田 勝太郎(ながた かつたろう)先生

フランクル博士(Frankl VE)は、ウィーン第3学派と呼ばれ、世界の精神医学、心理学、哲学、政治学に大きな影響を与えた。精神分析、行動療法、体験療法と進展した精神医学や心理学の潮流を、ロゴセラピー(logotherapy and existential analysis)は、より完全な人間の学問にした。ロゴセラピーの基本は、人間をいかによく理解するかにある。デイ(Stacey B Day)により考案された健康モデル、身体・心理・社会健康モデルをより完成させたのが、身体・心理・社会・実存的健康・医療モデル(全人的医療モデル)である。このモデルにより、初めて人間を十分に理解できるようになった。

私は、1986年に初めてウィーンにフランクル博士を訪れ、以来、亡くなる日まで直接ご教授いただいた。博士の亡きあと、その教えを後進に伝え、ロゴセラピーの新しい展開を図るのは、私たちの勤めである。本講演では、ロゴセラピーがいかにして創られ、それが世界に普及し、今日、どのように使用されているかをお伝えしたい。

【プロフィール】慶応義塾大学経済学部中退。福島医大卒。千葉大学病院、千葉労災病院で内科研修。北九州市立小倉病院で心療内科研修(池見西次郎教授に師事)。東邦大学大橋病院麻酔科・ペインクリニック科助手、総合会津中央病院池見記念心身医学センター長、浜松医大心療内科長、日本薬科大学統合医療教育センター長・教授を経て現職。ビクトール・フランクル大賞、アルバート・シュバイツァー賞、ヒポクラテス賞受賞。WHO(世界保健機関)心身医学・精神薬理学 教授。

著書: * 『本当は怖い「低血圧」』秀和システム、* 『痛み治療の人間学』朝日新聞出版、『QOL—脳の革命 成功する人間は脳幹が強い』PHP文庫、『コエンザイムQ10で元気力アップ』別冊家庭画報 他多数。

・プロフィール中の著書名に*が付いたものを当日頒布いたします。

● 申込み方法

同封の振込用紙が申込書となります。必要事項を記入のうえ参加費をお振込みください。

指定の振込用紙がお手元ない場合は郵便局の振込用紙にて、通信欄に ①参加日 ②協会員/一般 ③お弁当予約 ④職業(一般の方のみ)を明記して下記口座までお振込みください。

* 参加費受領確認後、受講票をお送りいたしますので当日お持ちください。

* お振込み後10日過ぎても受講票が届かない場合は協会までご連絡ください。

● 振込先

郵便振替口座 No.00130-8-352278
加入者名 日本家族カウンセリング協会研修会

● キャンセル

申込み締切り日までのキャンセルは全額返金、前日までのキャンセルは半額返金いたします。
(いずれの場合も事務手数料(1,000円)と振込手数料を差し引かせていただきます。)

● 昼食について

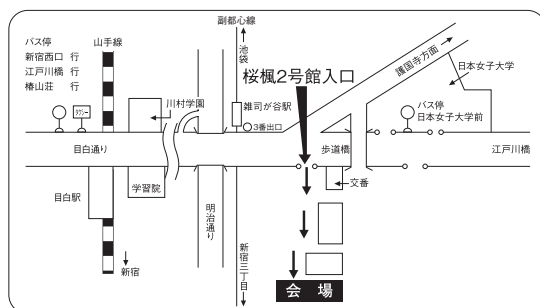
希望者にはお弁当(一食800円 飲み物付)の予約を申し受けます。振込用紙の記入欄にチェックし、参加費と一緒に振込みください。(会場への昼食の持ち込み可。周辺に飲食店は少ないです。)

● その他

申込み締切り後の参加希望の場合は、必ず事務局までお問い合わせください。

● 会場は空調の設備上、室温の微調整ができませんので、各自着衣で調整をお願い致します。

● 会場案内図



◆ 交通案内

JR山手線 目白駅下車

- ・新宿駅より外回り(池袋方面)約8分
- ・池袋駅より内回り(新宿方面)約3分

目白駅前よりバス

- ・新宿西口行 女子大前下車(5分目)
- ・江戸川橋行 //
- ・椿山荘行 //

目白駅前より徒歩 約20分

- 東京メトロ副都心線 雑司ヶ谷駅下車
- ・3番出口より 徒歩約8分